

2024年教育カウンセラー養成講座 秋田会場 受講者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

期 日：2024年10月12日（土）・13日（日）・14日（月）

会 場：秋田県総合保健センター 第1研修室（秋田市千秋久保田町6-6）

講 師・テーマ：

10月12日（土）

「構成的グループエンカウンター」藤川 章先生（NPO日本教育カウンセラー協会理事）

「教育カウンセリング概論」 水上和夫先生（NPO日本教育カウンセラー協会理事）

10月13日（日）

「不登校の理解と対応」「児童・思春期の子どもへの支援に生かす行動療法」

神村 栄一先生（新潟大学大学院 教授）

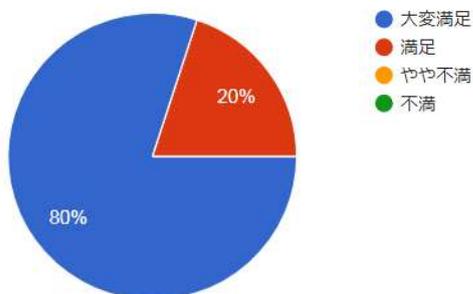
10月14日（月）

「問題を抱える子どもへの対応① - 愛着障害の理解と支援 -」

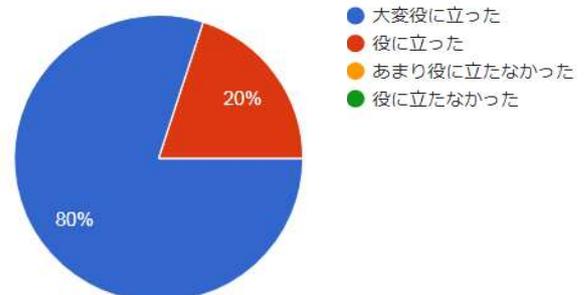
「問題を抱える子どもへの対応② - 愛着障害の支援の実際 -」

米澤 好史先生（和歌山大学 教授）

① 養成講座全般について（回答数25名分）



② 養成講座の内容について（回答数25名分）



③ 講座についての感想や意見

◀ どの講座も、概要と併せて具体的な支援や事例を紹介していただいたことで、自分のかかわる子ども達を想像したり、当てはめたらしながら具体的に考えることができました。いただいたワークシートや、紹介していただいた著者などを参考に、自分のスキルとして実践できるように精進していきたいと思えます。

また、この講習で出会えた方々とのさまざまな繋がりも今後の私の力になりました。ありがとうございました。

◀ 他の行事と重なってしまったため、三日間参加できなかったことが残念でなりません。藤川先生や水上先生、神村先生にお会いしたかったです！

最終日だけの参加でしたが、1日だけでも学びの面白さ、ワクワクした気持ちに包まれ帰路に着きました。また、会場の皆さんのあたたかさにも、秋田県教育カウンセラー協会そのもののあたたかさを感じました。協会の皆さん、大学生の皆さん、3日間ありがとうございました！

参加できたのは2日目だけでしたが、全講座に参加したかったです。時間の関係で触れられなかった部分を詳しく知りたかったが、先生の経験を含めたさまざまなお話を聞くことができ有意義な時間でした。

1日目、実際にエンカウンターを体験したのは久しぶりに思いました。コロナ禍で忘れていた気持ちを思い出せた気がします。1日目のおかげで、求心力が働いて、みんなで学ぶ感覚を味わえました。

2日目、認知行動療法における大きなメリットは、自分を悪者にしないでいいというところかなと思いました。性格や人格が悪くて問題を抱えているのではなく、望ましくない行動習慣が自分を苦しめているのです。だからそれを変えていけば糸口が見つかるかもしれません。そういった考え方は、人に勇気を与えてくれるように思います。

3日目、米澤先生の講義はご縁があって何度か聞かせていただいています。それでも今回は、キーパーソンとしての在り方モデルが大変参考になりました。SCとして、自分がキーパーソンになるパターン、学校の先生をキーパーソンとして支えるパターン、いずれも重要だと感じます。いずれの場合でも、保護者にキーパーソンを受け渡していく流れも必要のように感じました。

実践を積んできたことで、講座の内容が今まで以上に染み渡るように感じます。実践と講座受講を両輪として頑張っていきたいです。

素晴らしい3日間でした。SGEに興味があり、受講する中で体験でき、改めて自分と相手を知るきっかけになりました。自分の話を相手が明確にまとめてくれたり、別の言葉で認める聴き方をしてくれて、勇気づけられました。今後、SGEを実践する機会があれば参考にしたいと思います。

愛着障害は、最近知ったワードですが、職場ではまさに直面している問題なので、発達障害との見分け(併存)と難しさはありますが、受講内容を自分なりに整理して支援に生かしたいです。

三日間、質の高い学びの場を授けていただきました。

どの内容も充実していました。とりわけ、協働体験、協働思考の場では学びが活性化し、理解が促進しました。

少人数の会場でしたので、きめ細やかに配慮していただきました。安心感のある場で研修できましたことに事務局の皆様方に心から感謝申し上げます。

今の子どもたちが抱える問題に対応するためにさまざまな方法を知ることができ、ありがたかったです。

今回得られた知見を今後、自分の人生に使える場面が訪れれば、大いに活かしていきたいです。

興味深い内容の講座ばかりで、参加してよかったです。

特に、愛着については、大学の講義でも取り扱われたことが何度かあり、今回でより詳しい知識を身につけられたと思います。

7年ぶりの養成講座、出会いのエンカウンターで距離がぐっと縮まり、ぐっと深い話で他者とそして新たな自分と出会いました。何度やっても、また7年ぶりでも、このエクサイズは感慨深いです。藤川先生の様々な実践から裏打ちされた確かな極みのリーダーシップに國分スピリッツを感じました。忘れてはいけないと思いました。秋田まで本当にありがとうございました。またお会いできることを楽しみにしています。

えがめち学級作り，毎日の笑顔を大切に繰り返し継続することがやはり大事だと再確認いたしました。朝の会，笑ったかしら？帰りの会，どうだったかしら？”そんなゆとりどこにある？”なんて思う多忙な日々の中でも，先生のお話から，毎日行うことにもう一度目を向けて明日から歩みたいものだと思います。日々の実践に無理なく取り組めるように具体的な細やかな配慮のある言葉やシートに水上先生の実践のすばらしさ，子どもたちに寄り添っている富山の教育力の強さを感じました。

不登校についてたくさんのカウンセリングやデータ，そして時代背景もとらえ，ミクロからマクロまで包括的に統合され，また分類された令和型の不登校を示して下さいました。納得でした。神村先生，素晴らしいご講義ありがとうございました。時代を読む研ぎ澄まされたアンテナの高さにまた話をお伺いしたいと思いました。

大卒だとか高卒だとか学歴にかかわらず，子育ての悩みを抱える親，教育関係者に対して誰にでも分かりやすい言葉で心理学を，教育学を，行動療法を，解決に向かうように道を示してくださる米澤先生は悩み多き者の味方だと思います。本当にありがとうございました。またぜひご講義ください。

【10月14日(月)】(オンライン講座) 米澤 好史先生(和歌山大学 教授)
「問題を抱える子どもへの対応①-愛着障害の理解と支援-」「問題を抱える子どもへの対応②-愛着障害の支援の実際-」

◀ 保育士をしており，日々子どもたちと関わる中で，愛着障害ではないかと感じる児に対して対応を悩むことが多くあり，様々な愛着障害についての著書から学ばせていただいている米澤先生の講座があると知り，受講させていただきました。愛着障害と言ってもいろんなタイプがあることやどのような援助や関わりがそれぞれに必要なのかと学ぶことができました。また愛着障害と発達障害の違いについて学ぶことができ，つい“愛着だけではなく発達にも何かあるのでは？”とってしまう姿も，愛着障害の援助などによって違いに気づくことができるのだと思いました。

今担任している3歳児クラスで対応に悩んでいる児の姿が，まさに愛着障害に見られる姿と同じものがいくつもありました。担任や特定のものに対しての執着や独占力が強く，危険な行動をしてアピールする姿が多く見られ，本児もわかっていて行ってしまうので，それに対して対応に入ったり，自分の気持ちを受け止めてもらえないと他児に手が出るなどの危険な行動や泣き叫んでパニックになり，気持ちを切り替えるのに時間がかかっています。そうした際，本児が求めているのは担任ですが，1人担任だとどうしても対応するにも限界があり，泣き叫び手が出たりなど危険な姿が多く見られますが，フリーや園長・主任に対応をお願いしている現状です。今回の米澤先生の講座を受講し，その児にとってキーパーソンとなる存在が持ち上がりの担任しかいないことで，不在の時不安な気持ちや危険な行動などで試し行動をしたり，他の職員と過ごした後の反動が大きいことに繋がっているのだと感じました。この愛着障害の理解と支援，支援の実際を受講している様々な知識を得ることができました。今回学び，感じたことを一つ一つ今後の自分の保育や子どもたちとの関わりに活かし，周りの保育者にも伝えていきたいと思いました。貴重なお時間をありがとうございました。

◀ 米澤先生のお話を直接拝聴できる機会をいただき，大変感謝しております。愛着障害について，ご著書の内容も踏まえながら，より詳しく学ぶことができました。生徒との関わりについて，どのようにすれば…と考えていることや，上手く行かないと感じていたことにも，お陰様でもう一度整理をしながら，考えて対応することができたらという気持ちになりました。また今日のお話や，米澤先生のご著書を通じて，学びを深めながら，生徒との関わりや心の育ちを職場の方と共により良いものにできるように努めてまいるしたいと思います。(愛着障害について，切実に学びたいと考えていた折，遠方からでも，オンラインで参加をさせていただくことができ，大変ありがたく思いました。貴重な機会をいただき，重ねて感謝致します。)

◀ 質問です。

支援学校の小学部一年生の児童です。

入学当時は癩癩が酷く、教室にも入れませんでした。ですが6月末には癩癩も無くなり、他の教員や友達に自分から関わりに行くようになりました。相担がここ一か月程一対一で関わるようになったのですが、最近また癩癩がでてきました。起きる場所は教室外で私がない時に起きています。実際現場も見れておらず、相担もわからない状態です。助言いただけたら幸いです。

《米澤好史先生からのご回答》

ご質問ありがとうございます。

相担の先生が1対1でかかわっていただいた成果が安心基地づくりに寄与して癩癩がでなくなったのだと思いますが、教室外でまた癩癩がでてきたとのこと、まさに元に戻ったかのように見える現象ですが、それは何かご家庭の事情が変わったり、学校の様子が変わって本当に元に戻ったのか、あるいは、そうではなく研修会で申し上げましたとおり、別の現れ方に移行しただけなのかはその癩癩の様子、どのようなときに起こっているのかを精査しないと判定できないと思います。

ただ、今いただいた情報だけでも担任の先生がおられないときに起こるのでしたら、安心基地作りの中で安心基地がないときに安心を求めて教室外に出て、そこで安心を得られないため癩癩を起こしている可能性があるとも思えます。

その場合は、支援が一步進んで、安心の気持ちを求めやすくなったからと捉えていただき、先生が教室からいなく前に先手で安心の活動、このあと、これするよ、～先生とこれして待っててねの支援をすると解消することが多いです。

◀ 日々疲弊しており、支援がうまくいかないのは子どものせい、家庭のせい、世の中のせいだと思ってしまうことが多々ありますが、米澤先生のお話を聞いたり、書籍などで考えに触れたりしては、反省させられることの繰り返しです。今日も一日じっくり話していただけたので、私自身の振り返りになりました。

そして今回、直接質問（できると思わなかったのですが）させてもらえて、百倍元気が出ました！

愛着に問題のあると思われる子は、攻撃性が高く、みんなの目の敵にされてしまいがちなので、この次の機会には、チーム支援や理解を求める方法など組織作りについて詳しくご助言いただけると嬉しいです。

◀ 有り難うございました。米澤先生のオンラインでの講義を検索していたところ、偶然、本機会を直前に知りました。良い機会をいただき感謝いたします。現場では、日を追うごとに暴走が激しくなっており、複数人教室に課題のある児童がいます。キーパーソンを教頭先生が担っておられますが、業務も多忙で、なかなか厳しいご様子です。

という状況ですが、本日、四六時中ではなく、最低、週何回かでも一緒になる機会があればいいとのことのお話があり、少しホッとしました。

お世話いただいた事務局の皆様ありがとうございます。

◀ とても参考になりました。現在、対応が複雑になっている ASD × AD とと思われる児童がいます。その児童の母親も愛着に問題があるかもという新たな視点の気づきを得ました。ありがとうございます。

- ◀ 障害児者の相談員をしています。愛着障害と思われる方々の対応を複数しています。特に大人の愛着問題は根気が必要と感じている日々です。講義も事例を交えての話なので分かりやすかったです。講義の内容を活かしつつ明日からの支援の励みにしたいと思います。ありがとうございました。
- ◀ 具体的な事例や文献を紹介しながらお話しただけだったので、理解の助けになりましたし、もう少し文献を用いて深めたいと思う内容でした。
- ◀ 愛着障害の理解や具体的な支援方法について学ぶことができ、大変勉強になりました。特に、愛着障害への偏見・誤解・間違っただけの捉え方については意識しなければいけないと強く感じました。本日の学びを、今後の教育実践につなげていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ◀ 先生方からお話しを伺う機会をいただきありがとうございました。これから教育カウンセラーとして働く機会を探して、今回学んだことを生かしていきたいです。特に愛着障害について具体的な対応方法も教えていただき勉強になりました。
- ◀ 愛着障害の支援でしっかり学ぶ機会がない中でそういった子どものかかわりをしていたので、好ましくなかった支援方法を取り入れてしまっていました。今回の講座はとても勉強になりました。明日からの支援で取り入れていきたいです！ありがとうございました。
- ◀ これはどうなのかという思いに講義の中でお答えいただきました。（キーパーソンが変わる時の対応など）様々なご経験をされてこられたのだとわかる、適用範囲が広い講座でした。
- ◀ 児童発達支援で保育士をしています。職場の誰もが多少なりとも感じているだろうと思いますが何から始めれば良いのかという感じを受けています。チームができていない状態です。その日その時起きることに対処しているという感じです。
- ◀ 愛着障害の対応に関する実践的な研修で大変勉強になりました。著書も購入して読みたいと思います。少し保護者対応・支援についても触れていただけると嬉しかったです。ありがとうございました。

④養成講座全般（実施時期、会場運営、オンライン開催等）について

- ◀ 参加者への配慮や、協会の先生方、スタッフの学生さんの対応が温かく、明るく、とても参加しやすい雰囲気を作ってくださいました。ありがとうございました。
- ◀ 暑さや雪の影響を受けず学べることを考えると、今の時期がよかったと思います。会場内もいつも通り細やかな配慮が行き届いており、気持ちよく学びに集中することができました。
- ◀ 3日目がオンラインだったので、少しゆっくり出来ました。3日連続で会場で受講するのはやや大変だと感じました。
- ◀ オンラインのおかげで、遠方でも参加しやすく、感謝しています。いつもありがとうございます。

- ◀ 休日は介護をしながらとなってしまうので、今回のオンラインは非常に助かりました。でもやはり会場で仲間と共に小さな共有を重ねられるのが一番だと思います。コロナ前、はじめて教育カウンセラーの研修に出たときに秋田の方と御一緒して、秋田は熱心に活動してるから、是非いらしてくださいって言ってくださったのを実感しています。また機会を見つけてぜひ会場にも伺いたいと思います。

—— 機会がございましたら、ぜひ秋田に足をお運びいただければと思います。お待ち申し上げます。食べ物も美味しいものがいっぱいあります。(協会事務局より)

- ◀ 米澤先生の講座に終日参加をさせていただきました。祝日のオンライン開催は大変ありがたく感じました。遠方でも学びの機会をいただくことができ、大変ありがたく感じています(特に、切実に基礎から愛着障害について学びたいと考えていたため、この度の会にご縁をいただいたことは、大変ありがたく感じました。)

また、配付資料についてですが、米澤先生の資料につきまして、事前にお送りくださり、ありがとうございます。この度は特に、充実した資料のため、時間の都合上、全てをお話いただくことは難しいかもしれませんが、その場合は、穴埋め式ではなく、全て文字を入れていただいたスライドを手元にいただけますと、よりありがたく感じました。(可能であれば、途中や最後の方で、飛ばしたりお話をされなかったりしたスライドについて、穴埋めの部分を入れた状態で手元に資料がいただけたらと思いました。※この度ですと、9ページの左下のスライドや、13ページ以降の資料についてが時間の都合で空いたままになっている箇所かと思っておりますので、何かの形で内容を知ることができたらより嬉しく思いました。←なかなか難しいかもしれませんが、可能でしたらまたご検討よろしくお願い致します。)

ご準備から当日の運営まで、皆様お疲れ様でした。また、ありがとうございました。

(協会事務局より)

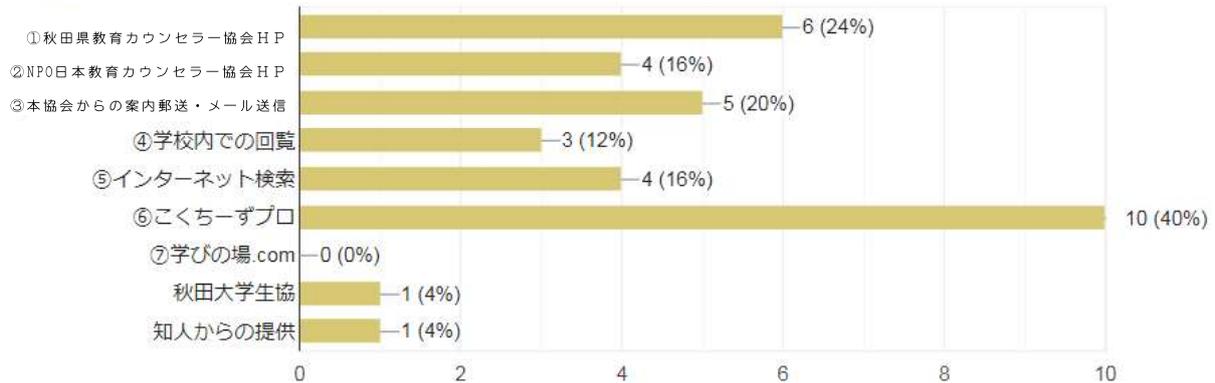
本会で初めて米澤好史先生をお招きした時から、参加者の方からそのようなお声を頂戴しております。

米澤先生からは、ご説明せずに解答だけをお伝えし、曲解されることがあったりしたため、お断りさせていただいていることを伺っております。ご理解いただけますよう、よろしくお願いたします。

- ◀ オンライン開催はありがたいです。
- ◀ オンライン開催は会場が遠く行けなかったのが助かりました！
- ◀ 大変満足しています。ご丁寧に対応していただき、ありがとうございました。
- ◀ 操作が苦手なので、会場で受講できれば有り難いです。
- ◀ 7年ぶりの養成講座、スタッフとはいえ久しぶりで分かっているようで忘れていた自分も感じました。皆さんに助けられながらなんとか終えました。ありがとうございました。
- ・また、事務局の綿密な計画に対して十分応えられず反省です。
 - ・お天気にも恵まれ、まさに勉強の秋、快適な環境で講義をうけることができよかったです。
 - ・対面、オンラインのハイブリッドもよい試みと思いました。諸準備お疲れ様でした。司会の先生も長時間お疲れ様でした。



⑥ 今回の養成講座を知ったきっかけについて（回答数25名分）（複数回答可）



⑥ 今後受講したい講座のテーマや講師について

- 対話のある授業（の基盤を創るカウンセリング知見）
- 不登校，引きこもり，規範意識の育み方
- 神村栄一先生も睡眠についてお話してくださったところで，重複するところもあると思いますが，睡眠について研究している柳沢正史先生（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長・教授）のお話も伺ってみたいなと思いました。
- また，米澤好史先生の講座に参加させていただきたいです。
- 愛着障害，発達障害，保護者対応そして教員のチーム作りに日々困っていますので，このあたりをお願いしたいです。
- 今回のテーマがとても参考になりました。保護者対応や，チームでの支援の在り方にも関心があります。
- 愛着障害を対応した事例集。または対応している支援者とのグループワークのような共有の場があれば参加してみたいです。
- 愛着，行動障害
- 犯罪に関する支援（被害者，加害者の支援や更生プログラム）について学ぶ機会があるとありがたいと思います。（また，思春期の性やヤングケアラーに関する話題なども機会がありましたら拝聴できるとありがたいと思います。）小栗正幸先生（特別支援教育ネット 代表）のお話も伺えたら嬉しく思います。

—— 養成講座を受講された皆様，アンケートにご協力をいただきましてありがとうございました。いただいた貴重なご意見やご感想をもとに，今後，さらに皆様にとりまして貴重な学び場となりますよう検討してまいります。皆様にとりまして，実り豊かな秋になりますようお祈り申し上げます。